

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 営業利益増減の要因分析
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 商品群別売上高
- [参考] 内訳

- 7) トピックス
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 上期・通期業績見通し
- [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響
- [参考] COVID-19関連需要の推移(概算)



日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2023年8月3日

1) 決算概要

	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	44,363	48,728	9.8
国内売上高	28,971	30,154	4.1
海外売上高	15,391	18,574	20.7
売上総利益 (売上総利益率)	21,811 49.2%	24,352 50.0%	11.7
営業利益 (営業利益率)	1,817 4.1%	2,205 4.5%	21.3
経常利益	5,481	5,794	5.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,679	3,787	2.9

(単位: 百万円、単位未満切捨て)

為替影響除く: +11%
(為替・決算期変更影響※除く: ±0%)

自社品 2023/3 1Q 2024/3 1Q
売上高比率: 70.8% → 73.3%

販管費率: 45.1% → 45.5%

為替差益: 35.5億円 → 35.3億円

平均レート	(2022/6)	(2023/6)
1米ドル	124.6円	135.4円
1ユーロ	136.8円	147.9円

※米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算日を12月31日から3月31日に変更しています。当第1四半期連結累計期間は、2023年1月1日から2023年6月30日までの6ヵ月決算を連結しています。

- 売上高は前期比9.8%増の487億円となりました。
- 国内売上高は、4.1%増の301億円となりました。市場別の取り組みを強化するとともに、顧客価値提案の推進、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、売上を伸ばすことが出来ました。
- 海外売上高は、20.7%増の185億円、現地通貨ベースでは11%の増加となりました。本年4月の米国子会社再編に伴い、デフィブテック社の決算期を12月から3月に変更しており、当第1四半期連結累計期間は6ヵ月決算を連結しています。為替と決算期変更の影響を除くと、前年同期並みの着地となりました。
- 営業利益は、増収に加えて、売上構成の変化により粗利率が改善したことから、人件費等の販管費の増加を吸収し、21.3%増の22億円となりました。粗利率は、50.0%となりました。
- 経常利益は為替差益の計上により5.7%増の57億円、純利益は2.9%増の37億円となりました。
- 社内計画に対しましては、国内は消耗品・サービス事業が想定を上回って推移したほか、為替が想定よりも円安に推移したことから、売上、利益ともに計画を上回って推移しています。

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 9.8%増

- ・国内：消耗品・サービス事業の強化に注力し、売上が伸長。私立病院、診療所市場が好調。大学、官公立病院市場は前年同期を下回る。
- ・海外：米国子会社再編に伴うデフィブテック社の決算期変更の影響、中国での感染再拡大に伴う生体情報モニタ等の整備もあり、二桁成長。

営業利益：前年同期比 21.3%増

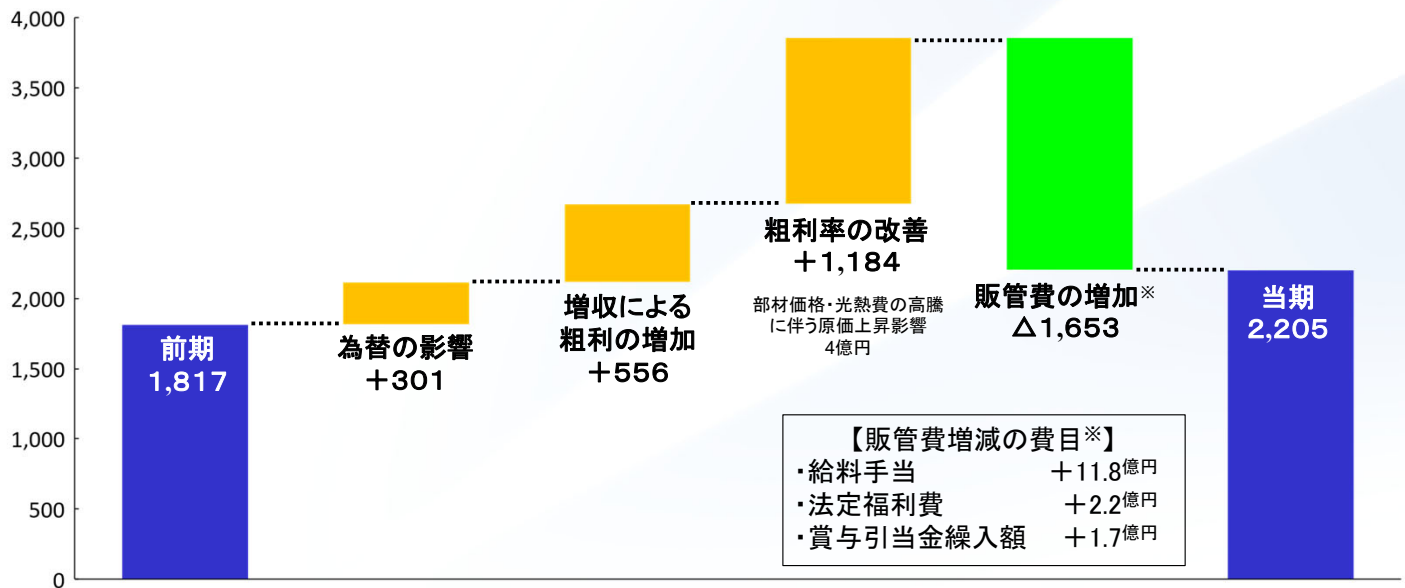
- ・増収効果に加え、売上構成の変化による粗利率の改善により、人件費等の販管費の増加を吸収し、増益。

経常利益：前年同期比 5.7%増

- ・為替差益を計上。

3) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)



※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

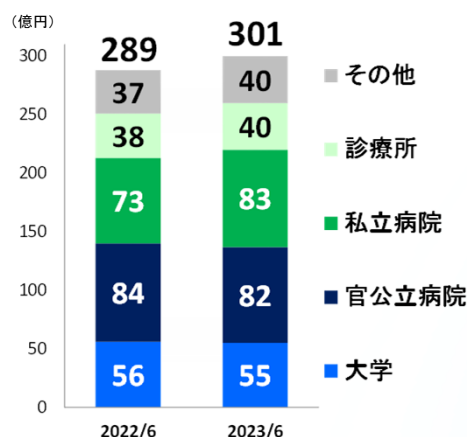
NIHON KOHDEN

3

- 営業利益が、前期の18億円から22億円に増加した要因について、ご説明します。
- 為替の影響につきましては、3億円のプラス要因となりました。
- 増収による粗利の増加は、5億円となりました。
- 粗利率の改善につきましては、国内で自社品販売に注力し、売上構成が良化したことから、11億円のプラス要因となりました。
部材価格・光熱費の高騰に伴う原価上昇影響は4億円程度ありましたが、国内外での価格適正化の取り組みにより相殺することが出来ました。
- 販管費につきましては、人員の増強等により人件費が増加したことから、16億円のマイナス要因となりました。

4) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,897	8,262	4.6
生体情報モニタ	9,203	9,818	6.7
治療機器	5,648	6,048	7.1
その他	6,222	6,024	△ 3.2
売上高合計	28,971	30,154	4.1

【市場別】 医療機関における検査・手術件数が引き続き回復傾向にある中、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、私立病院、診療所市場が好調に推移。大学市場は設備投資の再開により好調だった前年同期を下回る。官公立病院市場では現地仕入品が減収。

【商品群別】 **生体計測機器:** 診断情報システムが二桁成長、心電計群も好調に推移。脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群も堅調。
生体情報モニタ: 臨床情報システム、医用テレメータが二桁成長。センサ類など消耗品も好調に推移。
治療機器: AED、ペースメーカー・ICDの売上が回復し二桁成長。除細動器も前年同期を上回る。
その他: 自社品販売の注力により、現地仕入品が減収。検体検査装置は好調に推移。

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

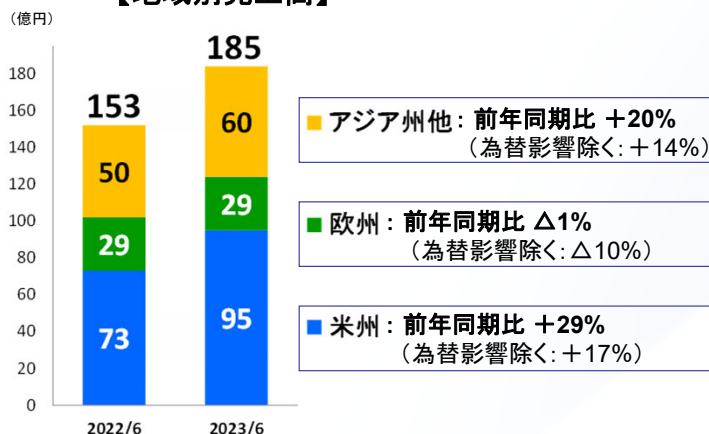
NIHON KOHDEN

4

- 国内売上高は、12億円増の301億円となりました。医療機関における検査・手術件数が引き続き回復傾向にある中、消耗品・サービス事業の強化に注力した結果、売上を伸ばすことが出来ました。
- 市場別では、私立病院、診療所市場が好調に推移しました。大学市場は、設備投資の再開により好調だった前年同期を下回ったほか、官公立病院市場では現地仕入品が減収となりました。
- 商品別では、生体情報モニタ、治療機器が好調だったほか、生体計測機器も堅調に推移しました。その他商品群は、自社品販売の注力により、現地仕入品が減収となりました。
- 生体計測機器では、前期からの一部商談の期ずれもあり、診断情報システムが二桁成長となったほか、心電計群も好調に推移しました。脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群も、検査・手術件数の増加により堅調に推移しました。
- 生体情報モニタでは、臨床情報システムが引き続き好調に推移したほか、医用テレメータも売上が回復し、二桁成長となりました。センサ類など消耗品も好調でした。
- 治療機器では、AED、ペースメーカー・ICDの売上が回復し、二桁成長となりました。除細動器も前年同期を上回りました。AEDはパッドやバッテリーなどの消耗品が好調でした。
- その他商品群は、現地仕入品が減収となりましたが、検体検査装置は好調に推移しました。

5) 海外売上高

【地域別売上高】



【海外売上高比率】

2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期
34.7%	38.1%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	2,133	2,493	16.9
生体情報モニタ	7,714	7,809	1.2
治療機器	3,994	6,664	66.9
その他	1,549	1,607	3.7
売上高合計	15,391	18,574	20.7

為替影響除く: +11% (為替・決算期変更影響除く: ±0%)

【地域別】	米州:	米国がデフィブテック社の決算期変更の影響もあり二桁成長となったほか、中南米もメキシコを中心に好調に推移。
	欧州:	フランス、スペイン、イギリスは増収となったものの、ドイツが好調だった前年同期を下回ったことから、減収。
	アジア州他:	感染再拡大に伴い生体情報モニタ等の整備が進んだ中国に加え、中近東、韓国において売上が大幅に伸長し、二桁成長。
【商品群別】	生体計測機器:	心電計群が中国での売上回復により大幅増収。脳神経系群もアジア州他がけん引し堅調に推移。
	生体情報モニタ:	アジア州他では中国を中心に好調に推移。欧州、米国では前年同期を下回る。
	治療機器:	AEDが決算期変更の影響を除いても好調に推移。人工呼吸器は、欧州、アジア州他で減収。
	その他:	血球計数器・試薬はアジア州他がけん引し堅調に推移。

- 海外売上高は32億円増の185億円、現地通貨ベースでは11%の増加となりました。米国子会社再編に伴うデフィブテック社の決算期変更の影響に加え、中国での感染再拡大に伴う生体情報モニタ等の整備もあり、二桁成長となりました。為替と決算期変更の影響を除くと、前年同期並みとなりました。海外売上高比率は38.1%となりました。
- 米州では、米国が二桁成長となりました。AEDが決算期変更の影響を除いても好調に推移し、人工呼吸器も新製品効果が寄与しました。一方、生体情報モニタと脳神経系群は、受注から納品・設置までのサイクルが延びており、前年同期を下回りました。中南米はメキシコを中心に好調に推移しました。
- 欧州では、フランス、スペイン、イギリスは増収でしたが、ドイツが好調だった前年同期を下回ったことから、減収となりました。
- アジア州他では、中国に加え、中近東、韓国において売上が大幅に伸長したことから、二桁成長となりました。中国は12月決算であり、上期は現地通貨ベース、円ベースともに二桁増収となる見通しです。
- 商品別では、全ての商品群が増収となりました。特に、治療機器において、デフィブテックのAEDが大幅増収だったほか、生体計測機器も二桁成長となりました。生体計測機器では、心電計群が中国での売上回復により大幅増収となりました。脳神経系群もアジア州他がけん引し堅調に推移しました。生体情報モニタは、アジア州他で中国を中心に好調に推移しましたが、欧州、米国では前年同期を下回りました。治療機器は、AEDが決算期変更の影響を除いても好調に推移しました。人工呼吸器は、欧州、アジア州他で減収となりました。血球計数器・試薬はアジア州他がけん引し堅調に推移しました。

6) 商品群別売上高

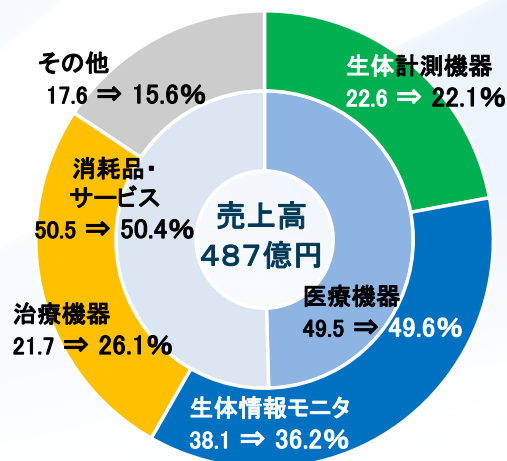
(単位:百万円)

	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	10,031	10,756	7.2
生体情報モニタ	16,917	17,627	4.2
治療機器	9,642	12,713	31.8
その他	7,771	7,631	△ 1.8
売上高合計	44,363	48,728	9.8

(参考)

医療機器	21,953	24,150	10.0
消耗品・サービス	22,409	24,578	9.7

商品群別売上構成比
(2022/6 ⇒ 2023/6)



- 生体計測機器は前期比7.2%増の107億円、
生体情報モニタは4.2%増の176億円、
治療機器は31.8%増の127億円、
その他商品群は1.8%減の76億円となりました。
- 消耗品・サービスは、9.7%増の245億円となりました。
医療機関における検査・手術件数の回復が続く中、国内、海外ともに、
消耗品・サービス事業に注力した結果、売上を伸ばすことが出来ました。

[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期
脳 神 経 系 群	21	21
心 電 計 群	14	17
心臓カテーテル検査装置群	41	42
その他(診断情報システム等)※	23	26

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期
医 科 向 け 除 細 動 器	16	16
A E D	42	78
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	5	6
人 工 呼 吸 器	13	6
そ の 他	18	18

そ の 他	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期
検 体 検 査 装 置	25	26
画 像 診 断 装 置 他 ※	52	49

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

- 商品群別売上高の内訳は、ご覧のとおりです。

7)トピックス

主な新製品

生体情報モニタリング事業

医用テレメータ WEP-1600

2023年度2Q 国内発売



最大16人モニタリング可能 キャリパー/ディバイダ機能

- ・新搭載 **キャリパー/ディバイダ機能**で、不整脈波形のレビューを効率化
- ・新搭載 **バイタルサインビューワ機能**※により、データをサーバに長期保存・参照可能 ※オプション。
- ・院内のPC端末から遠隔でデータ参照できるWEBブラウザ機能も搭載

治療機器事業

全静脈麻酔支援シリンジポンプ 制御ソフトウェア ROP-1680

AsisTIVA アシスティヴァ
2023年度1Q 国内プロモーション開始 2Q 国内発売



- ・関連学会が策定した適正使用指針に基づき、**トレーニングコースを策定中**

人工呼吸器 NKV-440

米国開発

米国生産

2022年度4Q 一部新興国発売
2023年度1Q 米国FDA承認取得
2023年度下期 米国発売予定



- ・肺保護Apps
- ・タービン駆動により、空気配管への接続が不要
- ・小型・軽量化、交換可能な長時間電池を搭載

院内搬送可能な
気管挿管型モデル

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

NIHON KOHDEN

8

- 当期の主な新製品をご紹介します。
- 国内で発売した医用テレメータの新機種は、心電図の計測に役立つ機能を新たに搭載し、不整脈波形を効率的にレビューできるようになりました。バイタルサイン等のデータをサーバに長期保存・参照できる機能も新たに搭載し、事後検証にも役立ちます。また、患者さんから離れた場所で遠隔でもデータを参照できるため、医療従事者の業務効率改善に寄与することを期待しています。
- バイタルデータを活用して麻酔薬の自動調節を行うソフトウェア「アシスティヴァ」は、本年7月に国内で販売を開始しました。関連学会が策定した適正使用指針に基づき、当社の営業員向け、麻酔科医向けのトレーニングコースの策定を進めています。本ソフトウェアを使用することにより、麻酔科医の業務負担を軽減し、手術中の医療安全の向上に貢献することを期待しています。
- 米国のオレンジメッドで開発した人工呼吸器 NKV-440は、昨年12月に海外の一部地域で限定発売しましたが、本年6月に米国FDA承認を取得することが出来ました。米国での下期発売に向け準備を進めています。従来品とは異なるタービン駆動により、空気配管への接続が不要となったほか、小型・軽量化を実現し、交換可能な長時間バッテリーを搭載していることから、院内搬送での使用が可能です。新興国市場のICUや、先進国市場の救急、一般病棟における需要獲得に取り組めます。

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	2023/3 第1四半期	2024/3 第1四半期	増減額	2023/3 実績	2024/3 計画
設 備 投 資	1,196	1,067	△ 129	8,294	5,000
減 価 償 却 費	825	832	6	3,675	4,100
研 究 開 発 費	1,412	1,559	146	6,200	7,200

●2024/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設 総投資額:約11億円 < 2023/3:10億円
2024/3:1億円

着工:2022年9月 完成:2023年夏
稼働開始:2024年夏予定

PLM/MES※システムの導入 設備投資額:約25億円 < 2023/3:3億円
2024/3~2026/3:22億円

PLM/MES:2026/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設 総投資額:約90~110億円 < 2023/3:23億円(土地取得)
2025/3:約65~85億円

着工:2024年春 完成:2025年春
稼働開始:2026年予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

- 設備投資は10億円、減価償却費は8億円、研究開発費は15億円となり、それぞれ計画どおりの進捗です。
- 通期の設備投資は50億円、減価償却費は41億円、研究開発費は72億円で変更ありません。

9) 上期・通期業績見通し

	2023/3 実績		2024/3 予想				(単位: 億円)
	上期	通期	上期	増減率 (%)	通期	増減率 (%)	
売上高	943	2,066	985	4.4	2,150	4.1	
国内売上高	625	1,357	—	—	1,395	2.8	
海外売上高	317	708	—	—	755	6.5	← 為替影響除く: +12%
売上総利益 (売上総利益率)	475 50.4%	1,059 51.3%	—	—	1,090 50.7%	2.9	
営業利益 (営業利益率)	72 7.6%	211 10.2%	60 6.1%	△ 16.9	215 10.0%	1.8	
経常利益	130	241	60	△ 53.9	215	△ 10.9	
親会社株主に帰属する 当期純利益	85	171	40	△ 53.2	145	△ 15.3	
海外売上高比率	33.7%	34.3%			35.1%		

【地域別海外売上高】 (単位: 百万円)

	2023/3 実績	2024/3 予想	増減率 (%)
米 州	36,818	40,200	9.2
欧 州	12,349	11,700	△ 5.3
アジア州他	21,701	23,600	8.7
海 外 計	70,869	75,500	6.5

※第2四半期以降の前提為替レートは、125円／米ドル、139円／ユーロから変更していません。

- 第1四半期は、国内では消耗品・サービス事業が想定を上回って推移したほか、為替が想定より円安に推移したことから、売上、利益ともに計画を上回って推移しています。しかしながら、通期の業績に占める第1四半期の割合が小さいこと、今後の為替相場は不透明な状況であることから、上期および通期の業績予想に変更はありません。為替レート的前提も、期初から変更していません。
- 国内は、上期の売上高は一桁前半から半ばの増収となる見通しです。医療機関における検査・手術件数の増加に伴い、消耗品・サービス事業は引き続き好調に推移すると見えています。また、医療の質向上と効率化に寄与する医療機器やITシステムの需要は底堅く推移すると見えています。
- 海外は、上期の売上高は二桁の増収となる見通しです。製品供給問題に伴う機会損失や新製品供給遅延が発生した前年上期からは回復を見込んでいます。地域別では、米州で二桁の増収を目指します。米国においては、新製品の中心機種ベッドサイドモニタや人工呼吸器の納品・設置に注力するとともに、AEDが引き続き好調に推移する見込みです。アジア州他では、中国が現地通貨ベース、円ベースともに二桁増収の見通しであることから、増収を見込んでいます。一方で、欧州は現地通貨ベースでは減収、円ベースでは増収を見込んでいます。
- 上期の粗利率につきましては、部材価格や光熱費の高騰に伴う原価上昇影響はありますが、国内外で価格適正化に取り組み、第1四半期と同様に50%台を確保したいと考えています。販管費につきましても、人件費等の増加が見込まれますが、伸びの抑制に努めます。

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

	2023/3 実績	2024/3 予想	構成比(%)	増減率 (%)
生 体 計 測 機 器	43,287	44,100	20.5	1.9
生 体 情 報 モ ニ タ	80,815	83,400	38.8	3.2
治 療 機 器	44,463	48,200	22.4	8.4
そ の 他	38,036	39,300	18.3	3.3
売 上 高 合 計	206,603	215,000	100.0	4.1

(単位:百万円)

(参考)

医 療 機 器	108,904	113,000	52.6	3.8
消 耗 品 ・ サ ー ビ ス	97,699	102,000	47.4	4.4

平均レート

	2023/3 実績	2024/3 予想
1 米 ド ル	134.6円	125円
1 ユ ー ロ	141.0円	139円

為替感応度の概算値(年間)

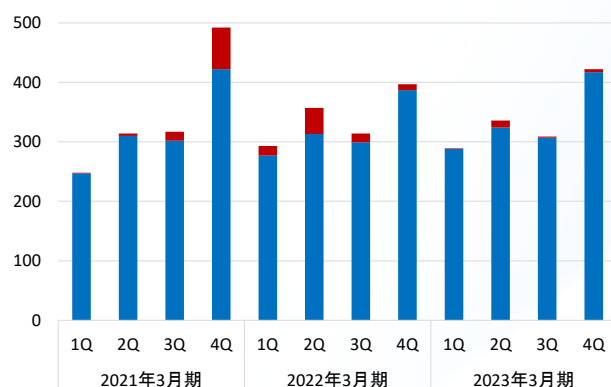
	売上高	営業利益
米 ド ル	4.1億円	1.3億円
ユ ー ロ	0.6億円	0.2億円

- 通期の商品群別の売上高予想につきましても、変更ございません。

[参考] COVID-19関連需要の推移(概算)

【国内売上高】

(単位:億円)



【海外売上高】

■ COVID-19関連
■ COVID-19関連以外



COVID-19関連需要 (通期)	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
生体情報モニタ	40億円程度	45億円程度	60億円程度	35億円程度	15億円程度	3億円程度
人工呼吸器	50億円程度	40億円程度	25億円程度	15億円程度	5億円程度	1億円程度
除細動器	—	5億円程度	—	10億円程度	—	1億円程度
合計	90億円程度	90億円程度	85億円程度	60億円程度	20億円程度	5億円程度

© Copyright NIHON KOHDEN CORPORATION All Rights Reserved

NIHON KOHDEN

12

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003